

国土交通大臣賞 <small>「事業所・地方公共団体等」分野</small>	受賞者名 株式会社熊谷組
	取組の実践場所 全国
	受賞テーマ 伐採木と現地発生表土をリサイクルする法面緑化工法（ネッコチップ工法）

ネッコチップ工法は、伐採木を粉砕したチップ材と現地発生土（表土）を生育基盤の材料としてリサイクルする緑化工法である。チップ材は堆肥化などの処理をせず、生のまま緑化の生育基盤材の材料としてリサイクルが可能である。現地発生表土は其中に含まれる埋土種子や根茎からの発芽により、在来植生を復元し、生態系の保全と植生の多様化に貢献することができる。

ネッコチップ工法は開発以来20年以上継続して実施している。リサイクルの推進を目的として基本の標準施工システム（下図）と合わせて狭隘な地形や高所多段法面でも施工が可能な高所施工システム（ポンプ圧送方式）を開発した。



特長等

1. 建設副産物の発生量の抑制とリサイクルによる環境への負荷の低減、また、コスト低減ができる。
2. 大きな生のチップ材を生育基盤材料として利用できる。また、従来まで使用が困難であった表土や表土に含まれる根茎、粘土分を多く含んだ土なども団粒構造を持つ基盤に改良し撒きだすことにより有効に利用できる。
3. 現地発生表土の利用による在来植生の復元・植生の多様化・生態系の保全が可能である。
4. 無機質を主体とした土壌を材料として用いるため、長期的に安定した生育基盤の造成ができる。
5. 専用プラント・高速ベルトコンベアを用いた機械化システムにより建設廃棄物が効率的にリサイクルでき、経済的な施工ができる。